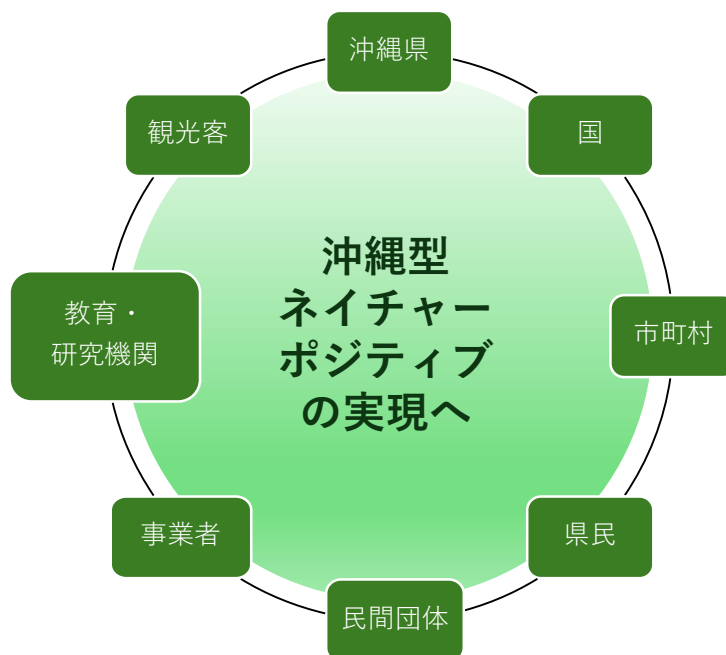


## 第6章 推進体制・進行管理

第6章では、「生物多様性おきなわ戦略」を推進するための各主体の役割と進行管理について記載しました。

### 1. 推進体制

本戦略の目標を達成するためには、様々な主体が現状を知り、行動・連携することが重要です。以下に、行政、県民、事業者、民間団体、大学・研究機関、教育機関（学校等）、観光客に期待する役割を示します。



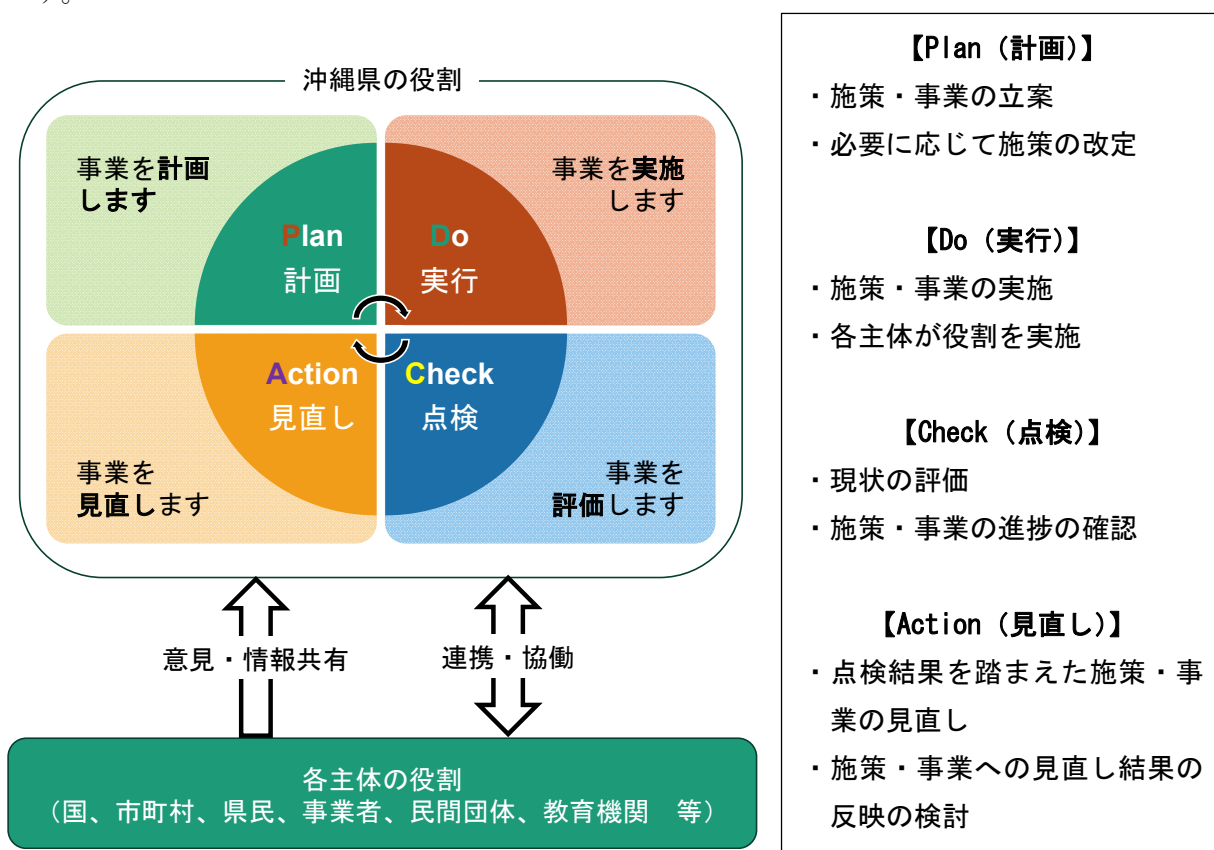
主体	各主体の役割
県	<ul style="list-style-type: none"> <li>目標達成に向けた総合的・計画的な施策の推進</li> <li>県が行う施策や事業を通じた生物多様性保全の推進</li> </ul>
国	<ul style="list-style-type: none"> <li>国が行う施策や事業を通じた生物多様性保全の推進</li> </ul>
市町村	<ul style="list-style-type: none"> <li>市町村が行う施策や事業を通じた生物多様性保全の推進</li> </ul>
県民	<ul style="list-style-type: none"> <li>生物多様性の重要性に対する理解度の向上</li> <li>環境配慮の商品の購入など、生物多様性への負荷の少ない行動の選択</li> <li>自然体験や環境学習、環境保全活動の積極的な参加</li> </ul>
民間団体	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域における生物多様性の保全に関する活動の中心的な担い手</li> <li>専門的な知識や豊富な経験を生かした多様な主体との連携・協働</li> </ul>
事業者	<ul style="list-style-type: none"> <li>自然環境に十分配慮した事業の実施</li> <li>SDGsなどの視点を持った持続可能な事業経営</li> </ul>
教育・研究機関	<ul style="list-style-type: none"> <li>生物多様性の保全に関する教育や身近な自然とふれあう機会の創出</li> <li>生物多様性に関する基礎情報の蓄積と分析、その成果の情報発信</li> </ul>
観光客	<ul style="list-style-type: none"> <li>沖縄の自然や文化への理解・尊重</li> <li>環境に配慮している事業者の活用</li> </ul>

図 各主体の役割

## 2. 進行管理

本戦略を効果的に推進するため、施策の取組状況を定期的に点検及び評価し、適切な見直しを行います。点検及び評価については、沖縄県 PDCA と合わせて実施することで、関連計画と整合を取りながら推進していきます。

- ・本戦略では、各施策の目標→行動目標（すべき行動）→沖縄型ネイチャーポジティブ（あるべき姿）の達成状況の点検・評価できるような構成となっています。
- ・進行管理は、PDCA サイクルの考え方にに基づき、Plan（戦略の策定）→Do（施策の実施）→Check（施策などの実施状況の点検・評価）→Action（戦略の見直し）の流れで行います。



- ・点検及び評価により、課題が確認された場合には、目標、施策、指標等について、都度見直しを行っていきます。

進行管理工程表

評価項目	策定	前期			後期				
	2025年 令和7年	2026年 令和8年	2027年 令和9年	2028年 令和10年	2029年 令和11年	2030年 令和12年	2031年 令和13年	2032年 令和14年	
状態目標		→							評価
行動目標		→							
施策		→			見直し	→			

みんなで生きものを調べよう ～様々な人々が関わっている活動の紹介～

伊良部島におけるサシバ飛来数調査

サシバは秋に北方から渡ってくるタカの仲間です。秋から冬にかけて沖縄の島々で過ごす個体もいるので、「ピククイー」という鳴き声に聞き覚えがある方も多いと思います。



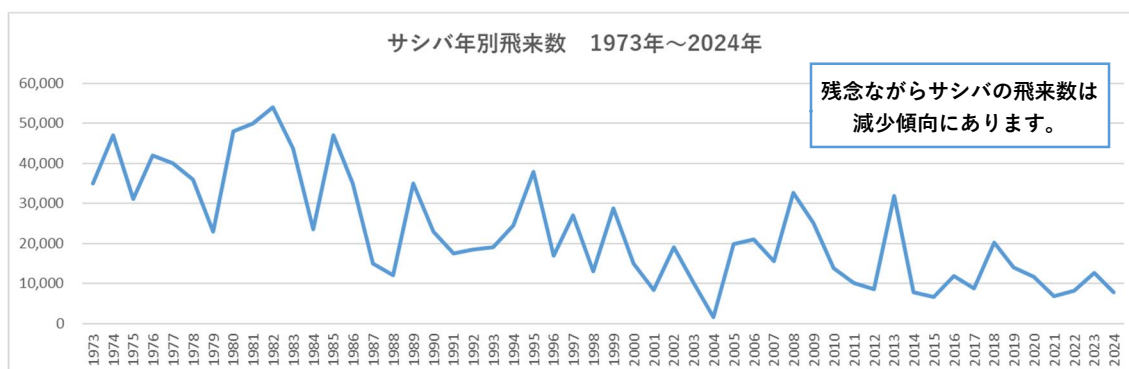
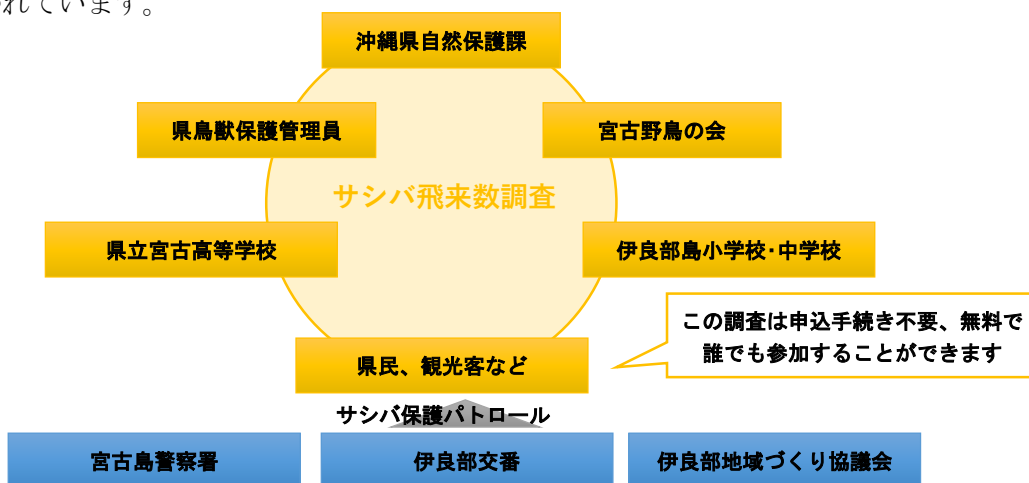
サシバ

※画像：下記サイトより抜粋

沖縄県環境部自然保護課では、サシバの大規模な渡りが見られる宮古島および伊良部島で飛来数のカウント調査を昭和48年度（1973年）から継続的に実施しており、令和6年度で52年目を迎えています。

例年、寒露の入りから2週間（10月8日～10月21日頃）かけて行われる大規模な調査は、宮古野鳥の会、県鳥獣保護管理員、沖縄県職員に加え、伊良部島小学校・中学校や宮古高校の児童・生徒及び職員を中心に、多くの方々の参加によって支えられてきました。この50年以上に渡る活動は、サシバの渡りに関する貴重なデータを蓄積するとともに、鳥獣保護思想の普及啓発に大きく貢献しています。

また、宮古島警察署や伊良部交番の他、伊良部地域づくり協議会の協力の下、宮古島および伊良部島において密猟対策のサシバ保護パトロールも実施されており、地域ぐるみの保全活動が行われています。



令和6年度サシバ飛来調査結果を元に作成

参考 沖縄県ホームページ 伊良部島におけるサシバ飛来数調査(令和6年度)

<https://www.pref.okinawa.jp/kurashikankyo/shizenseibutsu/1018702/1004861.html>